

the Lion

2014-2015 VOL.2



3リジョンからの富士山

- ◆ 地区ガバナーアピール
- ◆ クラブ例会紹介
- ◆ 事務局便り



ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

ガバナーアピール

GOVERNOR APPEAL

地区ガバナー 公式訪問を 終えて

地区ガバナー
佛井正夫



7月のカナダ・トロントでの国際大会、そして地区ガバナー就任、8月からのガバナー公式訪問例会と続いた多忙なスケジュールが今、一段落したところです。圧倒的な音の演出、さらにスケールの大きさに我々を魅了し続けた国際大会に関して、ライオンズメンバーは一見の価値があります。一度は国際大会を生で味わうべきです。

地区ガバナー公式訪問も、それぞれが印象に残る出会いの場でありました。

どのクラブも通常の正会員の減少で悩んでおられます。皆さん真剣に考え、悩んでおられることが良く分かりました。しかし、悩んでばかりでは解決の方向に行きません。

各クラブ共に全員で自分のクラブの特徴を生かし、全員で力を出し合って前に一歩ずつ進むしかないと思います。幸い、皆さんは既に地域のリーダーとして活躍されています。

皆さんの英知を出し合い、結集すれば必ず妙案が生まれ一歩ずつ前進することと信じています。

LCIFに関して、ライオンズクラブは国連で、また世界保健機構(WHO)でも重要なパートナーとして認識されています。世界の貧困、悪質な病気等に関し、ライオンズが果たしている役割は大変重要な位置を占めています。特に、日本からの多額のLCIF献金については、世界各国から常に尊敬の念で見られていることと思います。

私達はこれからも、世界の人々が少しでも幸せになるために、MJF献金を初めとしてLCIF献金に一層の協力をしていくべきと考えます。来年1月にはライオンズ世界奉仕週間も展開されます。是非献金にご協力ください。

今年度も後1カ月で半期を迎えます。これからも一層のご協力を賜ります様よろしくお願い致します。皆様良いお年をお迎えください。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

家族で楽しむ例会

1 R 1 Z 浜松南 L C



8月第一例会は、浜名湖の見えるザ・ヴィラ・ハマナコでの家族例会のバーベキューでした。浜松南ライオンズクラブでは、この夏の時期とクリスマスが家族例会になっており、伴侶息子娘孫に至るまで、多くのメンバー家族の方々に参加していただいています。

当日は、あいにく、台風11号の接近により風雨が強く、残念ながら屋内での開催となりました。子どもたちのためにスイカ割りも用意されていましたが、これも中止となってしまいました。しかしながら、大量のおいしい肉を焼くために、テラスで時折雨に風に悩ませられながら、会長自ら鉄板に向かい、みなさんにふるまっていただきました。

急遽開催されたカラオケ大会では、メンバーや家族が競って自慢ののどを披露し、会場一体となり大いに盛り上がりしました。三世代に渡る参加者ですので、幅広い年代の歌が流れることになりましたが、

それはそれぞれお互いに雰囲気を楽しむことになります。

最後のビンゴ大会では、おいしい肉、おいしいフルーツ、スイカ割りのスイカなどが賞品となっており、一喜一憂しながら、ビンゴシートに穴をあけていきました。

また、参加してくれた子どもたちには、おみやげとして花火をプレゼント。あとでご家族と一緒に楽しめたことと思います。

終わる頃には雨が上がり、少し肌寒い中、プールで遊ぶ家族も見受けられました。

参加したメンバーおよび家族ともに、とても楽しく例会を過ごし、来年は屋外で開催できるように願い、例会を終えました。

次期は設立35周年となります。今期は、引き続き、楽しい例会、楽しく奉仕をモットーに、多くのメンバーで節目を迎えられるように、メンバーおよび家族など人と人との繋がりを大切にしていきます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

中部学校給食センター視察

1 R 2 Z

袋井 L C



9月25日(木)袋井ライオンズクラブは、市内豊沢地区にある「袋井市立中部学校給食センター」の視察研修を行いました。

9月度第2例会の行事として、大田強会長をはじめとする袋井ライオンズクラブ会員30人が学校給食を実際に食べ、当センター(大場義孝所長)の原田康子栄養教諭から概要説明を受けました。

献立は、ごはん・牛乳・豚汁・焼き魚・和え物・デザートでバランスのとれた非常においしい給食でした。会員メンバーも「一昔前の給食に比べて、大変おいしくなった」と、センターの方々の丁寧な仕事に大変感銘を受けておりました。

センターは最先端の厨房機器を備え、徹底的な衛生管理を実現し、市内の学校(中学校2校、小学校6校、幼稚園6校)に、一日最大6,000食を提供しています。

また、食物アレルギーの児童、生徒も同様に給食を楽しめるよう専用調理室も完備しています。地産地消の取り組みも積極的に行い、地元食材を使用して、可能な限りの手作り給食を促進しています。災害時に備えた炊き出し対応も可能で、停電時に炊き出し用として、非常食発電機と専用釜を連携しています。

クラブ会員でもある原田袋井市長は、「3歳から15歳までの未来を担う子どもたちに、学校給食を通じて健やかな心身の育成を図り、日本一健康文化都市をめざしてまいります」と、今後更なる食育への期待を込め、学校給食への目標をかかげていらっしゃいました。この日は袋井 L C 初の女性会員の入会式を行い、新たな一歩を踏み出しました。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

お月見例会

1 R 3 Z 奥浜名湖 L C



当クラブは少人数ということもあり、会員同士がコミュニケーションをとりやすく、毎月2回の例会もお互いの意見交換・情報交換をする楽しい時間となっております。しかしクラブの運営の為に、奉仕活動を充実させていく為に、会員増強及び会員の退会を防ぐことが急務であり、当クラブの活動を魅力あるものとし、またPRしていくことが大切だと考えております。

そこで今回新たな試みとして開催した、会員以外の方をお招きした「お月見例会」をご紹介します。

「お月見例会」は、十三夜の10月6日(木)、地元細江町の【長楽寺】をお借りし、三ヶ日LCのL鈴木義男の歴史講話とお月見・会食を楽しむ例会です。

長楽寺さんの夜間拝観は珍しく、分かりやすく楽しいと評判のL鈴木義男の歴史講話ですので、会員のお友達や一般の方にもご参加頂くにはぴったりの企画です。

事前に静岡新聞にPRし、募集のお知らせを新聞に掲載して頂きました。

当日は48名(内 正会員8名・家族会員2名・賛助会員1名)にご参加いただき、歴史を感じる建物・お庭、そして美しいお月様を見ることができました。

もちろん歴史講話会も楽しかったと大好評。最後の会食の時間には、様々な交流があり、有意義な時間となりました。

今回、会員以外の方を例会にお招きするのは初めての試みでしたが、ライオンズクラブの存在を知っていただくこと、どんな人達がどんな活動をしているのかを知って頂く良い機会になったと思います。定期的にこのような会員以外の方をお誘いする例会を開き、その例会が奉仕につながるような企画を考えていくことも大切だと感じました。

今後も例会を工夫し、地域の為、かつ自分達にとっても実りある活動を増やして行きたいと思っております。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

我がクラブの例会紹介 —入会式—

1 R 4 Z

掛川 L C



掛川ライオンズクラブも昨年、CN50周年の記念式典を盛大に執り行う事が出来ました。これも先人達ライオンの偉業を成し遂げていただいたからこそ、CN50周年を迎える事が出来たと感謝しております。

今年度は51周年目を迎え、メンバーの年齢も高齢化し、若返り化に取り組んでまいりたいと思っております。幸運な事に私の息子が去年、掛川青年会議所理事長を務めた事から私と息子の友達（JCのメンバー及び、掛川商工会議所青年部）とも見識が生まれた事により、2名の若者も含め3名の若手を入会させる事に成功しました。入会式には大勢のメンバー出席をいただき、入会式の後の懇親会では全員で楽しく酒を酌み交わし、新会員を壇上に上げマイクを持たせ、

今後の抱負など3分間スピーチを語ってもらい大盛況でした。

掛川ライオンズクラブでは、第一例会は昼例会、第二例会は夜例会となっており、夜例会ではお酒も出し、会員のほとんどがお酒を嗜み和やかな雰囲気の中行われる為、あえて、新会員の入会式は第二例会で行うことといたしました。

また、9月第二例会はお月見例会と題し、掛川城内に所存する竹の丸という江戸時代掛川藩に仕えた松本家が建立した由緒ある御屋敷で行いました。当例会には静岡新聞社、中日新聞社の記者を招いて出席者全員で時の経つのも忘れて楽しい例会となりました。

今後も、若い会員の繋がりを糸口に多くの若者に入会してもらうよう努力してまいります。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

例会の楽しみは…

2 R 1 Z 静岡葵 L C



例会の楽しみの一つは各層各界、さまざまな方面でご活躍の方々のお話をおうかがいすることです。普段知ることのない、聞くことのないお話を聞くことは、いくつになっても楽しいものです。そんなわけで、外部の方をお招きしての「ゲストスピーチ」は計画・大会委員会のメンバーを中心に企画され、人気を博しています。

最近の4人を紹介しますと…

①望月将悟氏(トレイルランナー)

望月さんは静岡市消防の職員で、富山県から静岡市の大浜公園まで415kmを走る過酷なレース「トランスジャパンアルプスレース」において2連覇という偉業を成し遂げたランナーです。限界に挑んだ経験をお話いただきました。

②杉山満美さん(メンバーのお嬢さん)

満美さんは小・中学校の時から海外の学校を訪問している国際派で、高校卒業をし、英国の大学進学を目指しています。「世界中の友達が教えてくれた本当の人間力とは」と題し、世界各国の人々と接し、異なる歴史・文化・習慣や考えを伝える術を話してくれました。

③中本尚明氏(陸上自衛隊 第34普通科連隊長 兼 板妻駐屯地司令 1等陸佐)

空・海上自衛隊は、航空機・船等を使用するが、普通科連隊は、自分の体で仕事をする。陸・海・空の役割をサッカーの守備位置に例え最後の砦の役目であると話されました。

④大櫛浩之氏(石田消防署・稲川出張所・救急救命士)

AED講習会を行いました。AEDの使用方法は機械の音声に従って行えば誰にでも取り扱えるとのこと。万が一の時に大変役立つお話でした。

LCとしての活動力を高めていくには団結力が必要です。例会出席率を上げ、その例会の場で年齢、立場を越えたメンバー同士の友情を深める。団結力と友情は当然ながら一致するものです。そのためには魅力ある例会開催が必要です。今期の飯野吉明委員長を中心とした計画大会委員会の知恵と工夫はハイレベルで、年末のクリスマス例会や家族会なども大いに楽しみです。その模様は、改めてご報告させていただきます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

会員和気藹々 楽しい例会

2 R 2 Z 清水羽衣 L C



清水羽衣LCは年に数回の会員増強を行っています。通常例会は理事会の後、食事をとってから例会に入りますが、会員増強例会の場合は理事会の後、地域、年齢、新密度などを考えて三組に分け、必ず班長と副班長を選出して行います。会長の挨拶と一通りの例会の議事が終われば食事と少々のお酒で和気藹々と楽しい例会の始まりです。若手もベテランもメンバー増強について語ります。気楽な話の中で推薦者を探しますが、メンバー探しだけでなくゴルフの話やお酒の話、趣味の話などで例会は大いに盛り上がります。会員数減少と高齢化を防ぐためにもワークショップ実施や会員増強が必要なのです。ただ会員増強に積極的に動くのにはどうしても抵抗が伴います。義務になってしまい気持ちがダウンしてしまいます。そこで趣味の話やお酒の力を借りて気持ちを盛り上げるのです。例会終了後も各班ごとに活動します。

居酒屋で一ヶ月ごとに集まり、経過報告と可能性のある推薦者に関してはクラブの誕生会(毎月行われる出席率の高い行事)やゴルフにお誘いして入会を促します。何回かの活動の後、各班からの入会者があれば例会終了後に必ず歓迎会を開きます。

また、家族会員も新たに11名増強することになりました。当クラブでは今まで女性会員はありませんでしたが、未来を見据えての方向転換であります。ベテランは若手に礼儀と調和を教え、若手は新しい力と活性化をクラブに及ぼしました。

最後に我がクラブのスローガンは「金石の交わりで、地域への感謝の奉仕」です。これは永久に変わらない信念をもって地域に感謝の気持ちを伝え奉仕することです。会員一丸となって地域の向上をはかり友達の輪を広げて新陳代謝を続け、これからもクラブの発展を計っていきます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

藤枝LC入会例会

2 R 3 Z 藤枝LC



藤枝LCも昨年より、若干のメンバーが減っており、新規会員増員も大きな目標となっております。

藤枝ライオンズクラブの入会式は、厳粛な雰囲気の中、行われます。

新会員は、もちろん緊張しておりますが、スポンサーライオンからも緊張感が感じられます。特に、宣誓の誓いは、日常生活には重み、威厳を感じます。

また、会長からの入会者への期待の言葉、ライオンズの使命を教えてください、聞いている私達も初心に戻る良い時間です。

最後の新会員挨拶までの会場の雰囲気が通常にない、厳かな感じがして、私はとても好きな時間と感じております。

新会員もスピーチが終わり、席に着くとほっとした笑顔がとても素敵にみえるのはなぜでしょう？自分も入会時の事を思い出し、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。たぶん、多くのライオンも同じ思いだと思います。

我クラブの入会式は、会員全ての人の共通の思い出であり、仲間意識の始まりなのかもしれません。個人的意見ですが、例会の後の二次会で、新会員との親睦が深まり、熱い絆の始まりと毎回感じております。例会後の二次会からは、年齢や生活環境の違うライオン達との付き合いの原点であり、信頼や心からの友となっていくための、大切な歓迎会が待っております。この歓迎会も当クラブの温かさを新会員も感じてもらえて、とても良い時間を過ごせると思います。

これからも藤枝ライオンズクラブの入会式は、ライオン全ての人の心に残る入会式を守っていききたいと思っておりますし、もっと多くの人に入会していただける魅力のあるクラブになるように皆で活動していききたいです。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

わがクラブの例会風景 (入会式)

2 R 4 Z 静岡駿府LC



例会はクラブアクティビティの原点であり、メンバー間の貴重な交流の場になります。当クラブでは三役、計画大会委員会を中心に担当メンバーの協力を得ながら1年間の例会テーマを策定しています。アクティビティとしての絵画展、様々な専門分野からの講師をお呼びしての講師例会やメンバースピーチ、家族例会としてメンバーの奥様、子どもさんをお呼びしてイベントを楽しむ納涼例会やクリスマス例会など、趣向を凝らして内容の充実を図っています。その甲斐あってか、毎回80%以上の出席率を確保し、出席者からの評判も上々です。

その中で、入会式は新メンバーが初めて参加する例会であり、記念すべき晴れ舞台となります。当クラブでは毎年3名前後の入会者があり、既存メンバーにとっても興味津々、特有のムードが漂います。もちろん入会者はだれもが緊張の色を隠せません。硬い表情での入会挨拶となりますが、歓迎スピーチやスライドを用いた経歴紹介など式が進むにつれ、

次第に表情が緩んでくるのがわかります。一同の笑顔や粋な掛け声が笑いを誘い、温かい雰囲気醸し出しているのは、当クラブメンバーたちの人柄のなせる技でしょう。

実はこの入会式は序章にすぎません。早めに公式例会を切り上げて、洒落たフインバーに移動し2次会に突入するのがこのところの定番コースです。こちらで膝をつき合わせながら、お酒を交え、改めて交流を深めます。終わるころには新旧メンバー共に出来上がり、あたかも旧知の仲であったかのような光景が繰り広げられます。1stインプレッションはその後のクラブに対する姿勢を左右しますので、こうした暖かい親睦の場は大切です。既存メンバーも、先輩風を吹かすことなく、ともにライオンズライフを楽しむ仲間として迎え入れる姿勢が重要であり、そうした気風を備えているのがわがクラブの誇りです。今期もこうした入会式例会が数多く開催できるよう、会員増強に励んでいます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

奨学生認証状授与式 例会

3 R 1 Z 沼津中央 L C



沼津中央ライオンズクラブは会員21名(女性2名)の小さなクラブです。29年継続している自慢できるアクティビティ「沼津中央ライオンズ基金」による奨学金制度があります。これは市内在住または市内の高校に通学す高校生に毎月1名15,000円(3年間)の奨学金(返済義務無し)を今年度は10名に給付しております。昨年度まで100名に給付しました。その奨学生認証授与式例会が年1回開催されます。

私たちのクラブは例会前、速めに来た人たちは例会場にキープしてある焼酎を飲みながら楽しい雑談をしている人も沢山います、食事タイムの時もアルコールOKとしています。ただしこの奨学生認証授与式 例会は年に一度の禁酒・禁煙となっております。

ライオンズクラブの皆様へ

先日の図書券につぎましては、誠にありがとうございます。おかげで我が校の図書室に、新しい本が買ってもらえました。図書室には、より多くの生徒たちが集まり、本を読もうようになります。自分や友達の本を読んでみたい本も買うことができます。とてもうれしく思います。思い出は、一年前の図書室のまわりとした空間。この一年で見違えるようになりまし。百冊を超える新しい本が入ると、本棚も新しくなり、美しいポスターが貼られ、色彩豊かな世界に生まれ変わりました。これも、皆様の支援があったからこそだと思います。一二年生のころは、一人で本を読んでいたのが、今は、全校の中の読書室に選ばれました。全ては、生まれ変わった図書室のおかげです。図書室をより輝かせるものにしてくれたライオンズクラブの皆様には、とても感謝しています。最後に、全校を代表してお礼を言わせていただきます。本当にありがとうございます。



沼津中央中学校生徒代表
山口 雄大

この例会には沼津市教育長、小中学校校長会会長、地元新聞社社長、認証された奨学生と父兄と引率者として学校の先生の出席をいただいております。他のライオンズクラブからの例会見学参加もあります。毎年卒業生からのスピーチをして貰っていますが、素晴らしいお話をしてくれます。同時に今期で19年目となります「沼津中央ライオンズクラブ文庫」と称し、市内18中学校に2万円の図書券を贈呈しております。20・25・30・35周年時は1校100,000円の図書券を贈呈しました。中学校の図書室には中央ライオンズクラブ文庫のコーナーが設置されており、いろいろなジャンルの本、ベストセラーの本を購入できると喜ばれています。各中学生の子供たちから御礼のお手紙を見るたびに奉仕の喜びを感じております。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

「我がクラブの方針」

3 R 2 Z 富士マウント L C



今年度の会長基本方針に『さまざまな人達と交流を深め、見聞を広げ、他クラブの良い活動を学び、友好関係を築けるよう積極的にアピールする』と掲げました。9月第1例会には、札幌赤レンガライオンズクラブより、6名の例会に来訪して頂きました。当クラブの事業にも参加をして頂きました。また、ゴルフコンペを通し友好交流する事が出来ました。今後、友好クラブ提携が良い形で結ぶ事が出来ると思います。

また、青少年育成事業『いのちを考える』講演に浜松ひかりライオンズクラブにお声掛けをし、講演を見学して頂き意見交換会と交流を図らせて頂きました。



新会員加入は、メンバー適任者にお声掛けをし、数人で友好、信頼を深めた結果、ようやく入会という花が咲き始めました。

例会ではメンバーよりライオンズクラブ活動の関わり方や、それぞれの想いをスピーチして頂き、出席して良かったと思えるような内容の濃い例会を心掛けたいと思います。

テール・ツイスタータイムで「クイズ」・「ゲーム」などを楽しく行い、新会員には幅広い年代層の中でどんどん交流を深め、ライオンズを共に学び、共に当クラブの伝統を受け継いでいく努力を致します。

結成25周年に向けて活動的にアクティビティを行い、富士マウントライオンズクラブに入会して良かったと思えるクラブにして行きます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

たのしい例会は、会員増強と会員維持につながる

3 R 3 Z

長泉 L C



10月19日、当クラブの姉妹クラブである長野県・334-E地区1R2Z辰野ライオンズクラブと合同例会（きのこ例会）を開催しました。辰野LCとは一年交代で合同例会を開いており、今年は辰野LCのホストなので辰野町しだれ栗森林公園で行われました。

例会開始が10時なので長泉町を6時に出発し9時45分、しだれ栗森林公園に到着後、久しぶりに逢う辰野LCのメンバーと挨拶を交わし、ライオンレディをまじえパターゴルフを2時間位行い、メインの合同例会（きのこ例会）を実施しバーベキュー・きのこ汁等をごちそうになりました。特にきのこ汁の美味しかった事、当クラブメンバーも絶賛しておりました。

辰野LCメンバーと和気あいあいのたのしい例会を過ごし午後3時ごろ閉会となり帰路に着きました。

長泉LCは、3Zのなかで清水町LC（年2回）裾野LC（年1回）と合同例会を開催いたして居りますが、まだまだ、たくさんのおクラブとたのしい例会を作る為、合同例会を開催したいと思います。

私は、たのしい例会とは『クラブ会費があまり高くない事』『ドネーションは自己申告の事』『労力奉仕をたくさんする事』『金銭奉仕は程々する事』『合同例会を多く開催する事』『年24回の例会担当を毎回かえる事』が会員増強・会員維持につながると思います。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

粗食例会

3 R 4 Z 富士宮芙蓉 L C



富士宮芙蓉ライオンズクラブは、10年ぐらい前から年に1・2回ぐらい粗食例会という例会をしています。

結成22年が過ぎ正規会員26名、ゾーンの中では一番若いクラブで、クラブ名にもある芙蓉と名のつくライオンズクラブは全国に3クラブしかなく、名をあげると静岡芙蓉ライオンズクラブ、福岡芙蓉ライオンズクラブです。姉妹・友好クラブとなっています。今年度はホストクラブとして ZC・L. 後藤房生を輩出しています。

例会日を第一第三月曜日と定め、霊峰富士と富士宮の街並みが一望できる会場のゲストハウスフォレストヒルズにて行っております。例会は数卓の丸テーブルにそれぞれ座り料理を提供してもらい次第を進めて時には豪華な食事とお酒などを頂くのが多数だと思われますが、粗食例会というのは、会食費の抑制とライオンズクラブの例会のイメージを払拭する

のと、肩肘張らない例会をしたいという声から、地域の公民館やメンバーの自宅やお寺などを借り、食事は購入、持ち寄り・作るなどをして、イステーブルなどを自分たちで並べて準備をし、次第は通常例会と同じ進行をしていき、会食の時間は、購入したおにぎり、持ち寄りのふかしイモ、たくわんなどを食べ、お茶をすすり、いつもと違う雰囲気です。食事をして、会話もリラックスした感じで交わされ、なごやかに会食の時間も終わり、ゴミを片付けてまた次第を進行して例会を閉じます。そして、並べたイステーブルなどを片付け、掃除をして終了となり、だいたいこんな感じで粗食例会は行われます。

お金をかけた例会も必要ですが、逆のベクトルで会場をシンプルに食事もシンプルにし、そぎ落として行く例会も時には手作り感のあるものとして面白いと思いました。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

新会員と3分間スピーチ

4 R 1 Z 下田 LC



私たち下田ライオンズクラブは先人・諸先輩会員によって築かれた歴史と伝統を踏まえ、糸を紡ぐように確実に力強く前進していく為、また翌々年に控えた坂倉三吉地区ガバナー輩出の為にも社会奉仕活動に加え、会員拡大に対しても鋭意努力し活動しております。その中、今年度は現時点で4人の新入会員と1人の入会予定者を迎えることができました。

昨年度も4人の入会者を迎えており、着実に会員数の増大につながっているのですが、中には打ち解けるのに時間のかかってしまうメンバーがいるのも否定できません。そこで、新たな試みとして例会の中で3分間スピーチを実施して行こうという計画があがっています。通常の例会では全員の席は決まっていらないのですが、だいたい毎回同じようなメンバーと近くに座り、そのメンバー間としか話しをしなかったり、全員とコミュニケーションを図るのは難しい状況になりがちです。

1回の例会で数人のメンバーがスピーチをすることで、思いがけない共通の話題があることに気付いたり、メンバー同士の互いの理解が深まるなど効果が上がってくると思っています。また若いメンバーにとっては経験豊富な諸先輩方のクラブ活動や仕事に直結する実践的なスピーチやユーモアに富んだスピーチなどを拝聴できることで今後の人生に大きくプラスになっていくものと感じています。1人のメンバーが年に数回はスピーチすることになりますが、スピーチの順番は事前に知らせる仕組みにすることで、スピーチの苦手なメンバーでも気持ちに余裕をもって行えるのではないかと考えており、聞き手側も「あの人はどんなスピーチをするのか」といった様な楽しみが増え、例会出席率の向上も期待しております。

今月は例会のタイミングとは別に新入会員歓迎懇親会も開催する予定です。今後、メンバー間の相互理解をより深め、例会を含めたそれぞれの活動の中に多くの「楽しい」を増やしていきながら邁進していきます。

クラブ例会紹介

SPECIAL EDITION

GMT活動

「200%例会」

4 R 2 Z 三島LC



9月16日、第1221回 九月第二例会「お月見・200%例会」を廻遊式庭園・隆泉苑を中庭として眺められ「水の都三島」を味わえるお食事処・松韻で開催した。

18時30分例会スタート、隆泉苑が一望できる2階清流殿で開会のゴングから始まり、前半セレモニー後メンバーが招待したゲストを紹介、またゲストの方からも自己紹介を兼ねたご挨拶をいただく。今回のゲストは8名、司法書士・塗装業・元JCメンバー(5名)の方々、また女性もおひとり(ちなみに当クラブの女性会員は現在2名です)ご参加頂き華を添えていただきました。

そんな中、200%例会3度目の参加となる渡邊英正さんが「入会届を書いてきました」の一言に会場内は大拍手。近く新ライオンの誕生です。例会のメインスピーチは、三島市内の福祉施設の施設長より「社会福祉施設の現状について」15分程度お話をいただきました。今年度、三島ライオンズクラブのメイン事業

「地域の社会福祉施設への奉仕(支援)」を実行するにあたり、有意義なお話に耳を傾けました。

19時20分お月見、隆泉苑の庭園において天を仰いだがお月様は見えず、ライトアップされた日本庭園で談笑、普段の喧騒を忘れリフレッシュ、参加者全員で記念撮影。

19時40分懇親会開始。We Serveで一気に飲み会モード。でも、ここからがGMT活動本番。参加してくれたゲストを皆で口説く。ライオンが獲物に襲いかかる瞬間です。20時45分懇親会終了、二次会へゲストを手厚くおもてなし。

最後に、三島ライオンズクラブが毎年行うGMT活動の一環の「200%例会」とは、各メンバーがゲストを誘いライオンズクラブの例会を見学してもらい、その後の懇親会で友好を深め、近い将来メンバーになっていただくことを目的に行われる例会です。一部のメンバーだけが会員拡大するのではなく、メンバー全員で取り組む大変有意義な例会です。

事務局だより

INFORMATION

2014～2015年度第2回キャビネット会議報告



2014～2015年度第2回キャビネット会議が11月20日(木)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

1. 2013～2014年度キャビネット会計決算報告並びに監査報告
2. 第61回地区年次大会議案提出締切日、同大会運営組織表・実行表・収支予算について
3. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー届出要領及び次年度キャビネットの組織編制について

キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局かキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2014年冬季YCE来日青少年について

今冬季、当地区への来日青少年はオーストラリア女子1名(三ヶ日・奥浜名湖LC)とマレーシアから3名(静岡青葉LC(F)、沼津中央LC(M)・河津LC(F))、の4名となりました。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日から20日まで、東京の青少年総合センターを主会場に、後半は京都見学が実施されます。全員年末には帰国します。ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

12月～2月のキャビネットスケジュール

12/ 5(金)	第2回青少年・クエスト委員会
12/11(木)	第61回地区年次大会第2回実行委員会
12/27(土)～1/4(日)	キャビネット事務局年末年始休暇
1/13(火)	3・4Rクラブ会長会・女性会員会議
1/15(木)	1Rクラブ会長会・女性会員会議
1/16(金)	2Rクラブ会長会・女性会員会議
1/27(火)	第3回献眼・献腎・献血・環境保全委員会
1/28(水)	地区会計中間監査/第2回LCIF委員会
2/ 4(水)	第3回ZC会議・第4回地区GMT・GLT会議・L育成グループ第3回研修会
2/19(木)	第3回キャビネット会議

2014年8月～10月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2014. 8.20	L 鈴木 春 吉	浜 松 南LC
2014. 8.22	L 佐 藤 克 幸	富士中央LC
2014. 9.21	L 田 中 穂 積	菊 川LC
2014. 9.24	L 川 島 公 夫	富士吉原LC
2014. 9.28	L 鈴木 巖 夫	静岡駿府LC

地区誌表紙と裏表紙について

今年度の表紙、裏表紙は各リジョンから望む「世界文化遺産・富士山」です。

世界文化遺産 富士山

